

(臨床研究に関する公開情報)

新潟病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 退院調整を行うにあたって必要となる情報収集 - A 病棟の抱える課題 -  
[研究責任者] 看護部 宮澤 みのり

[研究の背景]

入院時から退院調整を行う必要があると文献にあるが、当病棟で入院時から退院調整に関する情報収集が、いつ、どんなタイミングで情報収集を行っているのかを明らかにしたい。

[研究の目的]

令和 3 年の文献研究では「病棟看護師が行う情報収集が退院支援への第一歩である。」という考察を得ている。  
当病棟看護師が、いつ、どんなタイミングで、退院調整に関する情報収集を行っているのかについて、過去のある時期に退院した患者カルテを参照し、当病棟が抱える課題を明らかにしたい。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

脳血管障害の患者さんで、2021年4月1日から2022年3月31日の間に、3病棟で退院前カンファレンスを行った患者。(7名)

●研究期間：倫理委員会承認後から2023年3月31日

●利用するカルテ情報

病名、年代、入退院日、同居家族の有無、社会資源利用状況

以下の項目について、聴取をした職種、情報収集をした時期(退院日が決まった後かか)をカルテ記録から参照する。

聴取する項目：退院時期の希望、退院先の希望、退院に関しての本人・家族の考え、退院についての不安(思い)、退院後の問題点、退院後の介護力に関する記録、退院日の予定(目標)、リハビリのゴール(終了時期)、退院後の生活で困っていること

●情報の管理

カルテ情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。情報は、当院の研究責任者である、宮澤みのりが責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

国立病院機構新潟病院

看護部 宮澤 みのり

電話 0257-22-2126 FAX 0257 - 24 - 9812